

2021年度事業計画

第10(59)事業年度

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

基本方針

今般の新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、多くの人命を奪うとともに、世界経済に大きな打撃を与えた。この未曾有の大災禍は、凶らずリモートワークやオンライン教育の普及、衛生意識の向上という社会の進歩を促したが、その一方で、ITインフラ事情による労働や教育面での格差、使い捨て製品による環境問題、運動機会の減少による健康問題等々、様々な社会問題を顕在化させることとなった。当財団では、今後の社会発展には「持続可能性」の考え方が重要であると考え、「誰一人取り残さない」という考えに共鳴し、コロナショック以前より国連が提唱してきた「SDGs(持続可能な開発目標)」を実践し、事業を展開していく。

マリンスポーツ普及事業では、今年度より、海事産業の将来的な活性化を図るため、次世代の担い手たる海洋高校生等の教育を支援する取り組みを始めるとともに、「withコロナ」に則した親水イベントの企画開催を通じて、マリンスポーツの魅力や楽しさ、水辺の安全知識、ライフジャケットの有用性ととともに、環境保全意識を従来どおり広めていく。また、新たな事業テーマ「未来に残そう私達のマリンフィールド」を設定し、地域社会とともに海洋プラスチックや温室効果ガスといった環境問題の解決に向け取り組んでいく。

水上安全啓発事業では、官公庁や関係団体と連携して、水上安全パトロールや安全運航指導を行い、国内水域利用の健全化を図るとともに、国内外の関係機関との情報共有を通じて、更なる水上安全の向上に努力していく。

施設マネジメント事業では、指定管理者として公共施設の適正な維持管理や運営に努めるとともに、水辺を活用した魅力ある余暇活動の創出や、地域イベントの企画開催等を通じ、人々の健康増進や子どもたちの健全な育成に努めていく。特に、大阪府営二色の浜公園については、次期指定管理の受託に向け、更なる調査研究等を行い、引き続き来園者のニーズや公園周辺の立地、地域社会との協調を大切にされた公園活性のあり方を検討していく。

以上、公益財団法人として、全ての事業を通じて広く一般に対し「有効かつ適正な水辺利用の環境整備」や「水辺への親しみやすさ」を育む契機とし、「人々の水辺に対する意識」を変えていくものとする。また、SDGsに取り組み、持続可能な社会の実現に積極的な貢献をしていくものとする。

実施計画

I 公益事業 (243,113,000 円)

マリンスポーツ体験機会の創出や、水上安全啓発活動の展開、マリンスポーツ関連施設の管理運営を行い、「健全な青少年の育成」や「水難事故の未然防止」、「マリンスポーツ活動水域の整備」などを図る。また、各種取組を達成するため、社会のニーズに合わせた広報活動や適切な器材整備等を実施する。

1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業 (14,900,000 円)

広く一般にマリンスポーツ体験の機会を提供し、マリンスポーツの魅力や楽しさ、水辺の安全知識、ライフジャケットの有用性ととともに、環境保全意識などを広めていく。また、地域社会と協働して海洋プラスチックや温室効果ガス等の問題解決に取り組むことで、事業テーマ「未来に残そう私達のマリンフィールド」の達成を目指し、その一環として「ジャパンSDGsアワード」に挑戦する。



(1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

① 親水イベントの開催・支援

国や地方公共団体、公益法人等と連携して、親水イベント等を開催し、健全で安全なマリンスポーツの普及に努める。なお、各イベントは、感染状況の推移に応じて、リアル開催とオンライン開催を使い分け、感染防止を図る。

a. マリンスポーツフェスタ in 碧南

開催時期：5月

開催場所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

実施内容：福祉施設等利用者向けの体験乗船会他

目 標：参加人数200名

b. 隅田川水面の祭典

開催時期：5月

開催場所：隅田公園（東京都台東区）

実施内容：体験乗船会他

目 標：参加人数200名

- c. 横須賀うみかぜカーニバル in うみかぜ公園
開催時期：9月
開催場所：うみかぜ公園（神奈川県横須賀市）
実施内容：体験乗船会、安全教室他
目 標：参加人数200名
- d. 横須賀うみかぜカーニバル in 海辺つり公園
開催時期：11月
開催場所：海辺つり公園（神奈川県横須賀市）
実施内容：体験乗船会、安全教室他
目 標：参加人数30名

② 指定管理施設における体験乗船会の開催

地域住民に水辺を楽しむ機会を提供し、管理事業への理解を得るとともに、水辺の安全知識やルール、マナー、環境保全等の啓発を行う。

- a. マリンスポーツ体験周知イベント
開催時期：5月
開催場所：二色の浜公園（大阪府貝塚市）
実施内容：マリンスポーツ体験、安全教室他
目 標：参加人数100名
- b. NISHIKINOHAMA BEACH FES
開催時期：9月
開催場所：二色の浜公園（大阪府貝塚市）
実施内容：マリンスポーツ体験、安全教室他
目 標：参加人数200名
- c. TOYOTA ソーシャル FES
開催時期：9月
開催場所：二色の浜公園（大阪府貝塚市）
実施内容：マリンスポーツ体験、安全教室他
目 標：参加人数100名

③ ライフジャケットの着用推進活動

水難事故防止における「自助」を促進する観点から、ライフジャケットの適切な着用と水辺のあらゆる場面での着用を推進し、国内の新たな標準として定着を図る。

a. オンライン型着用推進活動の実施

動画配信サービスやSNSを活用することで、従来の会場来場型イベントにあった距離的な参加の障壁を取り除き、あらゆる地域や世代にライフジャケットの有用性を広め、水辺におけるライフジャケット着用を国内に定着させる。

目 標：参加人数20,000名の達成

b. ライフジャケットレンタルステーションの展開

溺水事故から子供たちを守るため、全国各地の海水浴場等と連携し、子供たちに無料でライフジャケットを貸し出す取組みを行い、ライフジャケットの有用性を広め、水辺におけるライフジャケット着用を国内に定着させる。

目 標：新規開設4ヶ所の達成

④ 次世代の人材育成（新規取り組み）

海事産業の将来的な活性化のため、次世代の担い手たる海洋高校生ならびに大学生等の教育を支援する取り組みを行う。

a. 海洋高校等に対するマリンスポーツ教育等の支援

(a) 神奈川県立海洋高校のマリンスポーツ教科

開催時期：4月～9月

開催場所：横須賀市内

実施内容：教育カリキュラムとしてのマリンスポーツ体験と職業体験を実施する。

(b) 新潟県立海洋高校の体験乗船会

開催時期：7月

開催場所：能生漁港（新潟県糸魚川市）

実施内容：特殊小型船舶操縦士免許の取得に向けた水上オートバイの操船体験を実施する。

b. 次世代人材の育成に関する新たな取組等の調査研究

⑤ 広報活動の拡充

社会のニーズに合わせた広報戦略として、動画配信やSNSによる情報発信を強化し、効果的に当財団の取組をPRし、健全で安全なマリンスポーツの普及を促進する。

a. YouTubeチャンネル

マリンスポーツファンの新規開拓を目指し、誰もが楽しむことのできるチャンネルへの転換を図る。今年度は、その下地として過去の記録映像や各事業の映像配信を行い、チャンネル登録者数の増加を目指す。

目 標：チャンネル登録者数500名の達成（187%増）

b. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

イベント情報の効率的な拡散を図るため、これまで以上に情報発信の頻度をあげるとともに、マリンスポーツファン以外にも楽しんでもらえるよう環境保全や水辺の安全教育に関する情報共有の強化を行い、フォロワー数の増加を目指す。

(a) Facebook

目 標：フォロワー数1,500名の達成（16%増）

(b) Twitter

目 標：フォロワー数400名の達成（29%増）

⑥ 調査、整備及び共通事業等

- a. 各種器材の整備
- b. 関連団体との連携強化
- c. 港湾施設の有効活用調査

(2) 管理施設を活用したマリンスポーツの啓発事業

① 管理施設におけるマリンスポーツの啓発活動

管理業務の指定や委託を受けた施設において、マリンスポーツの安全・普及啓発活動を行う。

a. うみかぜカーニバル in 深浦

開催時期：5月

開催場所：深浦ボートパーク（神奈川県横須賀市）

実施内容：マリンスポーツ体験、安全教室他

目 標：参加人数200名

b. うみかぜカーニバル in 浦賀

開催時期：10月

開催場所：浦賀ボートパーク（神奈川県横須賀市）

実施内容：マリンスポーツ体験、安全教室他

目 標：参加人数200名

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業

(7,550,000 円)

マリンスポーツ等水辺利用の更なる向上を図るため、事故防止の「公助」を充足させる活動、及び「共助」としての民間活動の充実を図るとともに、国土交通省、海上保安庁、及び水上安全啓発団体等との連携体制を強化し、更なる水上安全の向上を図る。



(1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

① 地域における安全啓発活動の充足

海上保安部署及び地域における安全啓発活動を担う民間ボランティア等との連携を図り、水域におけるパトロールや指導を強化するとともに、救助・救援活動の支援及び構築により、水上安全の向上を図る。

a. 新海上安全指導員（民間ボランティア）育成への協力

開催場所：未定

実施内容：全国管区本部の安全対策係員に対する水上オートバイ研修

b. 安全運航教育による海上安全指導員への指導

開催場所：未定（3ヶ所）

実施内容：新海上安全指導員への安全運航教育の拡充

c. 地域活動に対する協力、支援

実施内容：調査及び支援策の検討

d. ネットワークの構築

Maris サポーター制度を活用した活動支援

② 安全講習会の実施

海上保安庁、運輸安全委員会、海洋高校、施設管理者等に対して研修や講習を通じて事故防止対策の充実や安全意識の向上に寄与する。

開催場所：二色の浜公園（大阪府貝塚市）、海洋高校他

実施内容：安全運航講習、救急救命講習等

③ マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

マリンスポーツイベントや競技会等において、警戒及び救助に関する安全管理体制の整備と強化を図る。

- a. マリンスポーツ競技会における安全管理
 - 開催場所：小豆島（香川県）、芦ノ湖（神奈川県）
二色の浜公園（大阪府貝塚市）他
 - 開催時期：5月～12月
 - 実施内容：パワーボート、アクアバイク等競技会における救助及び警戒業務
- b. オープンウォータースイミングにおける安全管理
 - 開催場所：三浦海岸（神奈川県三浦市）、逗子海岸（神奈川県逗子市）
三宅島（東京都）、熱海サンビーチ（静岡県熱海市）他
 - 開催時期：6月～9月
 - 実施内容：水上オートバイによる救助及び会場周辺の警戒業務
- c. 遠泳実習における安全管理
 - 開催場所：富浦海岸（千葉県南房総市）
 - 開催時期：7月
 - 実施内容：水上オートバイによる救助及び会場周辺の警戒業務
- b. 国際セーリング競技会における安全管理
 - 開催場所：江の島（神奈川県藤沢市）
 - 開催時期：7月25日～8月5日
 - 実施内容：水上オートバイ（ボランティア協力者）による会場周辺の警戒業務

④ 水上オートバイの安全、マナー等向上対策

- a. T P S P（東京港、湾、河川水上オートバイ安全航行推進プロジェクト）への参画
関東近郊の水上オートバイに関わる販売店やマリナー、安全啓発団体等による同プロジェクトに参画し、水上オートバイの一般利用者に対する安全講習会及び水域パトロールなどにより、東京港及び周辺水域における健全利用を促進する。

(2) 国内外における水上安全に関する連携強化

- ① I B W S S（International Boating & Water Safety Summit）：水上安全国際サミット（米国）への参加
USコーストガード、NASBLA（全米安全運航法管理官協会）、NSBC（米国安全運航評議会）、NWS C（米国水上安全会議）によって開催される水上安全の国際サミットに参加し、最新の水上安全、安全運航等の情

報収集と、参加各国の水上安全関連機関との交流を図る。

開催場所：米国（オンライン開催）

開催時期：5月17～29日

② J B W S S（Japan Boating & Water Safety Summit）：国内における水上安全サミットの実施

国土交通省、海上保安庁、（一社）水難学会、（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会、（公社）関東小型船安全協会、（株）舵社と連携し、安全運航及び水上安全に関わる団体間の情報の共有、効果的な連携を促進することにより更なる水難、海難の防止、安全対策の向上を図る。

開催場所：東京周辺

開催時期：5～7月

3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業 （143,063,000 円）

当財団のマリンスポーツに関する知識やノウハウを活用して、水上オートバイ専用施設を備えるなどマリンスポーツに特化した海浜公園等の管理運営を行うとともに、地域住民の健康増進や健全な青少年の育成、環境保全に寄与するため、地域住民を対象としたイベントの企画開催や、海浜植物等の保全活動などを行う。



(1) 二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

公園施設の適正な維持管理や運営に努めるとともに、利用者サービスの向上や、周辺海域の安全管理、地域住民との交流などを通じて、大阪府民に愛される公園づくりを行う。また、感染防止対策については、「大阪モデル」を推進するとともに、昨年度の経験から得たノウハウを最大限活用し、安心安全な公園の実現を目指す。

① 管理運営業務

a. 施設の適正な維持管理と運営

b. 施設の有効活用

- ・海浜を活用したマリンスポーツイベントの開催や誘致
- ・公園活性化イベントの開催

- c. 利用者サービスの向上
 - ・最新サービスの導入（電子決済等）
 - ・SNSを活用した施設情報の発信
- d. 来園者に対する啓発活動
 - ・環境保全（海浜植物・赤松の保全等）
 - ・水辺の安全
- e. 周辺海域の安全管理
 - ・安全航行指導（ローカルルールの周知等）
 - ・水上パトロール

II 収益事業 (109,744,000 円)

指定管理業務における収益施設の管理運営や、水上オートバイの免許取得講習会の運営等を通じて、安全運航意識の向上による水域利用の健全化を図る。なお、当事業における収益は、管理施設の修繕費等として還元するほか、小型船舶の利用振興や安全運航教育を目的とした事業に還元する。

1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業 (33,914,000 円)

大阪府営二色の浜公園の指定管理業務における収益施設の管理運営や、公園の利用促進を目的とした自主事業を展開する。



(1) 海浜公園における駐車場管理・物販及び自主事業

駐車場やバーベキュー施設、園内売店といった便益施設の管理運営を行うとともに、自主事業としてマリンスポーツ体験やアウトドア体験イベントを実施する。また、感染防止対策については、「大阪モデル」を推進するとともに、ソーシャルディスタンスの確保や事前予約制の導入などにより、利用者の安全確保に努める。

① マリンスポーツ体験

開催時期：5～9月

実施内容：SUP、カヌー

② アウトドア体験

開催時期：通年

実施内容：レンタルバーベキュー、DAYキャンプ、ドッグフリーDAY
キャンプ

2. 特殊小型船舶操縦講習事業 (515,000円)

水上オートバイ運航時におけるルールやマナー、安全運航技能の習得に重点をおいた特殊小型船舶操縦免許の取得講習会を運営する。講習会においては、海洋汚染防止等の海洋環境保全に寄与するため、安全運航意識とともに環境保全意識の啓発に努める。



(1) Maris ジェットスクールの運営事業

ボートレース場や水上オートバイ専用ゲレンデ等の安定した水面を活用して安心安全な免許取得講習会を実施する。

① 試験コース

開催場所：多摩川ボートレース場（東京都府中市）
桐生ボートレース場（群馬県みどり市）
二色の浜公園（大阪府貝塚市）
新潟県立海洋高校（新潟県糸魚川市）

開催時期：4～9月

② 安全教育教習コース（登録教習所）

3. マリンスポーツ施設の運営事業 (61,177,000円)

当財団のマリンスポーツに関する知識やノウハウを活用して、船舶の保管施設などマリンスポーツ関連施設の管理運営を行うとともに、施設利用者の海難事故防止や、地域住民の健康増進、健全な青少年の育成に寄与するため、安全講習会の開催や、地域住民を対象としたイベントの企画開催などを行う。



(1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営（指定管理業務）

指定管理者として、「横須賀市立深浦ボートパーク」ならびに「横須賀市立浦賀ボートパーク」の管理運営を行う。日頃より施設の適正な維持管理や運営に努めるとともに、安全航行の指導や、利用者サービスの向上、地域住民との交流などを通じて、市民に愛される施設づくりを行う。

① 管理運營業務

a. 施設の適正な維持管理と運営

b. 施設の有効活用

(a) 横須賀の魅力再発見クルーズ

開催場所：深浦ボートパーク、浦賀ボートパーク

開催時期：4～10月（各月1回）

c. 利用者サービスの向上

d. 来園者に対する啓発活動

・環境保全

・水辺の安全

e. 安全航行指導

・ボートパーク安全講習会

III その他継続事業

1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業 (2,600,000円)

マリンスポーツの健全な普及を図るため、各種マリンスポーツ競技団体等の活動支援を行う。

(1) マリンスポーツ競技団体等の活動支援

① 支援団体等

a. マリンスポーツ競技団体

・運営支援、協力

b. Maris サポーター

現 Maris クラブ、レンタルステーション等の約30団体に対して、新たな仕組みとして設置する Maris サポーターへの移行を促す。